

本校は、平成22年度にユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）に取り組んでいます。地球の未来を考え、各学年や委員会の環境教育を通して人や自然、社会との「つながり」「かかわり」を尊重できる児童の育成を目指しています。さらに、2030年までの国際的な持続可能な開発目標（SDGs）について学び、日々の生活の中でゴール達成に向け、ESD教育を推進しています。

【ユネスコスクールとは】

ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を实践する学校でユネスコが認定した学校です。



【持続可能な開発目標（SDGs）・ESDとは】

SDGsとは、2015年に国連で採択された2030年を年限とする17の国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指しています。教育は目標4に位置付けられ、ESDは目標4のターゲット4.7に記載されています。ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略で、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことを言います。「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」しているとも言われています。ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっています。六郷小では、ESD教育を推進し、授業の中にSDGsを組み込み学習しています。

【中庭再生プロジェクト】

六郷小の中庭には100周年時に作られたメダカが住む記念池や、果実のなる樹があります。しかし、中庭は普段児童の立ち入りが禁止されており、子どもたちにとってなじみのあるものとは、言い難い状況でした。この中庭の環境整備をし、活用しようと「中庭再生プロジェクト」が立ち上がりました。子どもたちのこんな中庭になってほしいという願いを少しずつ形にするべく、様々な教科と関連を図り、学習の中にプロジェクトが組み込まれ、できることから徐々に進んでいます。今年度も5年生を中心に記念池の一部に稲を植え、育てています。低学年では中庭に住む生き物を探す活動をしたり、4年生は、通年で中庭の自然を観察する活動をしたり、花壇や草むしりなどの整備活動をしたりしています。これからも、中庭は本校の環境を考える活動の中心として、期待されています。



中庭記念池の設計者から話を聞きました

【学校のエコ活動】

学校の節電・節水のため、環境委員の児童が休み時間に『エコパトロール』を行っています。エコパトロールは、人がいない教室の電気がついっぱなしになっていないか、水道から水が出ていないかを見回ります。そして掲示板にパトロールの結果を示し、『コエ出し、エゴなし、エコ活動』というスローガンを掲げて、全校に節電・節水を呼びかけています。



【6年生企業とのオンライン授業でSDGsを学ぶ】

6年生は、SDGsと環境の関わりや環境に対する企業の取り組み事例について学ぶことで、未来や地球規模の視点をもつことを目的として、江崎グリコ株式会社と連携したオンライン授業を行いました。

「クイズで学ぼう！SDGsと環境の話」と題したクイズ形式の双方向型授業の中で、トレーの厚みを減らすエフやエコルールマークの説明などを聞き、環境問題について自分たちができることを考えました。

＜児童の感想から＞

- ・地球環境が温暖化や食糧問題など様々な問題を抱えていることに気がついた。
- ・会社はお菓子を売るだけでなく、環境を大切にしていることを知った。
- ・子どもである自分たちにも環境を守るためにできることがわかった。



【学校の緑化活動】

環境委員会を中心に花壇の花を植えかえたり水やりをしたりして、1年を通して植物の世話をしています。学年の花壇には、ヘチマやアサガオやなど理科や生活科で育てている植物も元気に育っています。



SDGsウィークのようす



SDGs掲示板

【SDGsウィーク】

環境委員会では、SDGsについて、理解を深めるために「SDGsウィーク」というSDGsを紹介する催しを行い、たくさんの児童が参加しました。6年生が作った塗り絵をしたり、〇×クイズに熱心に取り組んだりすることを通して、楽しみながらたくさんの児童がSDGsについて考えることができました。

また、2階ホールには、SDGs掲示板があります。これは、2030年の未来に向けてみんなのために自分が実践できたことを紹介するコーナーです。休み時間になると子どもたちは、自分が実践したSDGsの取組を思い思いにカードに書き、掲示板に貼っています。掲示板に自分の実践を紹介することで、取組が広がり、積み重なっていく場となっています。